

備こ七自と雖もさるる。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の
相樹の長むる緯一歳小大余万本とれ小暨ぶりのる。其年
う又豊お園が花號點とさる兆大既這等小出授さるる。其
後吉郎交山口奉行修理属 智伏緒匹
堂下。登と凍ふ。盤と潤ふ。千秋の賀韻を減小満るる
さふさるる。三星天小生挑矢くとくお對を。これが為小堂上

このやまらくろ。一。このやまらくろ。一。このやまらくろ。一。
遠山口九弟次希とのり者。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の
盛晴の愛智郡星壽庄の大内孫太郎。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の
太郎盛晴の始と山はと林を。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の
の士ら。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の
りり。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の
傳報と記し。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の
を人質と。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の
清洲城中の消息と。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の

備こ七自と雖もさるる。其年二月廿日の朔大風起て清洲城の
相樹の長むる緯一歳小大余万本とれ小暨ぶりのる。其年
う又豊お園が花號點とさる兆大既這等小出授さるる。其
後吉郎交山口奉行修理属 智伏緒匹
堂下。登と凍ふ。盤と潤ふ。千秋の賀韻を減小満るる
さふさるる。三星天小生挑矢くとくお對を。これが為小堂上